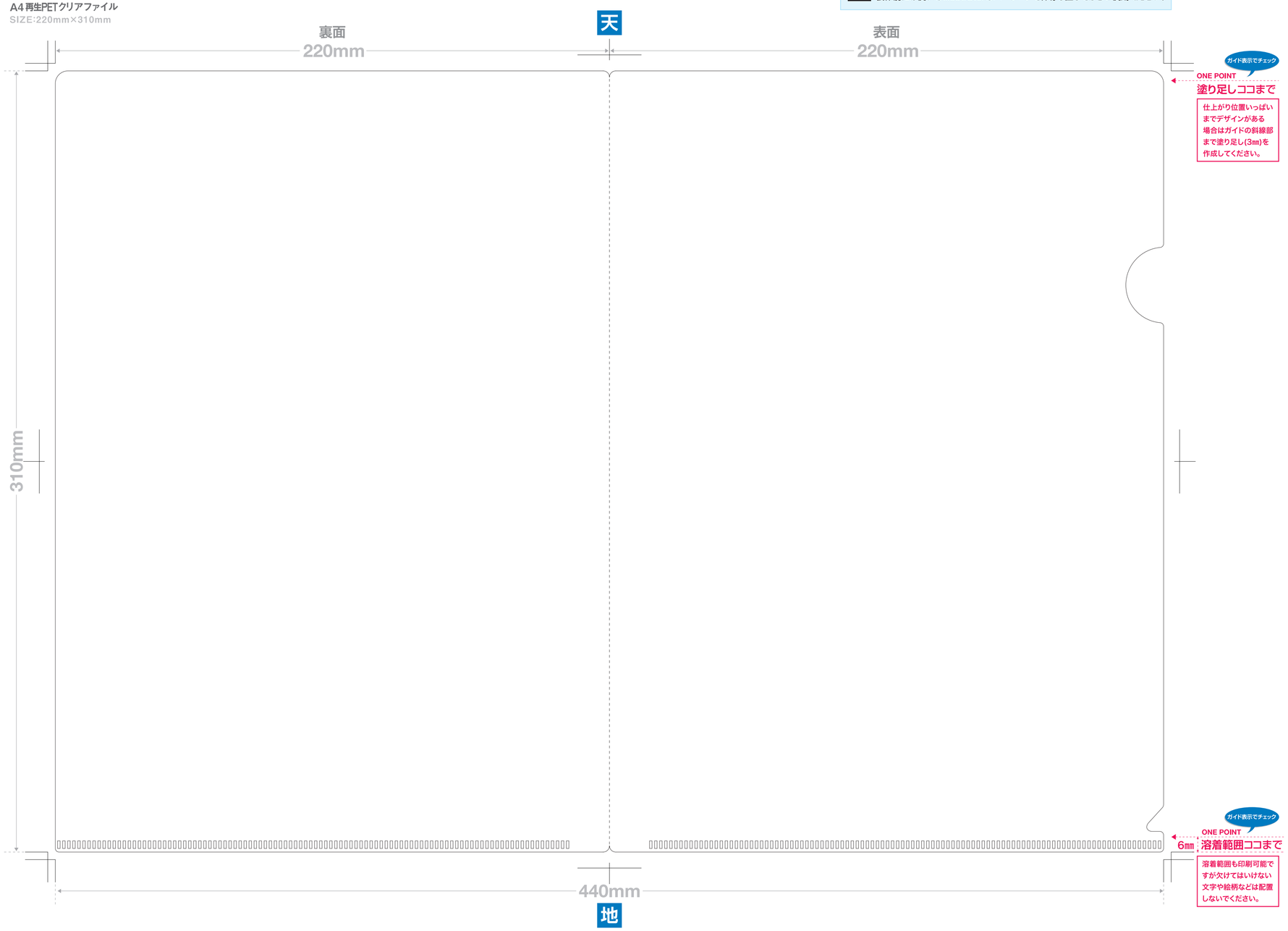
A4 再生PET

A4再生PETクリアファイル
SIZE:220mm×310mm

このテンプレートはIllustrator ver.10で保存しています。
製作前にお使いのIllustratorのバージョンで保存し直してからご使用ください。



データ製作ガイド

- ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか？
  設定方法：メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度(推奨__その他-350ppi)
- 文字はアウトライン化されていますか？
- リンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
  埋め込みの場合も当店にて確認しますので必ずご入稿ください。
- リンク画像ファイルのカラーモードはCMYKになっていますか？
  RGBのままですと予期せぬ色の変化が生じる可能性がございます。
- 入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか？
- データは正常に開きますか？
- 入稿データは圧縮形式になっていますか？
  必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮をしてください。
- 絵柄を透かしたくない場合は、ホワイト版(白打ち)データを作成してください。
  PP(ポリプロピレン)は透明な素材ですので、印刷すると絵柄が透けてしまいます。そのため、絵柄の下に白を印刷することによって透けにくくし、発色を良くする事が可能です。
  白を印刷すると中の書類が見えにくい状態になります。プロセスでの白ヌキ部分は透明になりますので、白を印刷したい部分をホワイト版(K100%)で表現することになります。
  クリアファイルに使用される素材は、PP素材のため印刷時に伸縮が起こる事があります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のズレによって白がはみ出してしまいますので、ホワイト版(白打ち)の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm/パスをオフセット」して作成してください(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

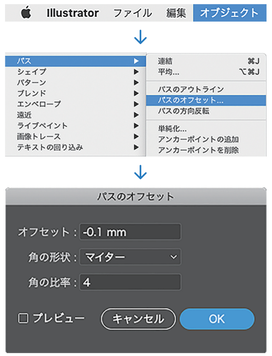
使用レイヤーについて

ホワイト版(白打ち)データは『ホワイト版』レイヤーに
カラーデータは『カラー版』レイヤーに作成してください。

ホワイト版(白打ち)のカラー設定

モード：CMYKの場合
ホワイト版(白打ち)を作成する場合、左記例(K100%)の様に単色ベタ塗りで設定してください。

ホワイト版(白打ち)の作り方



ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ

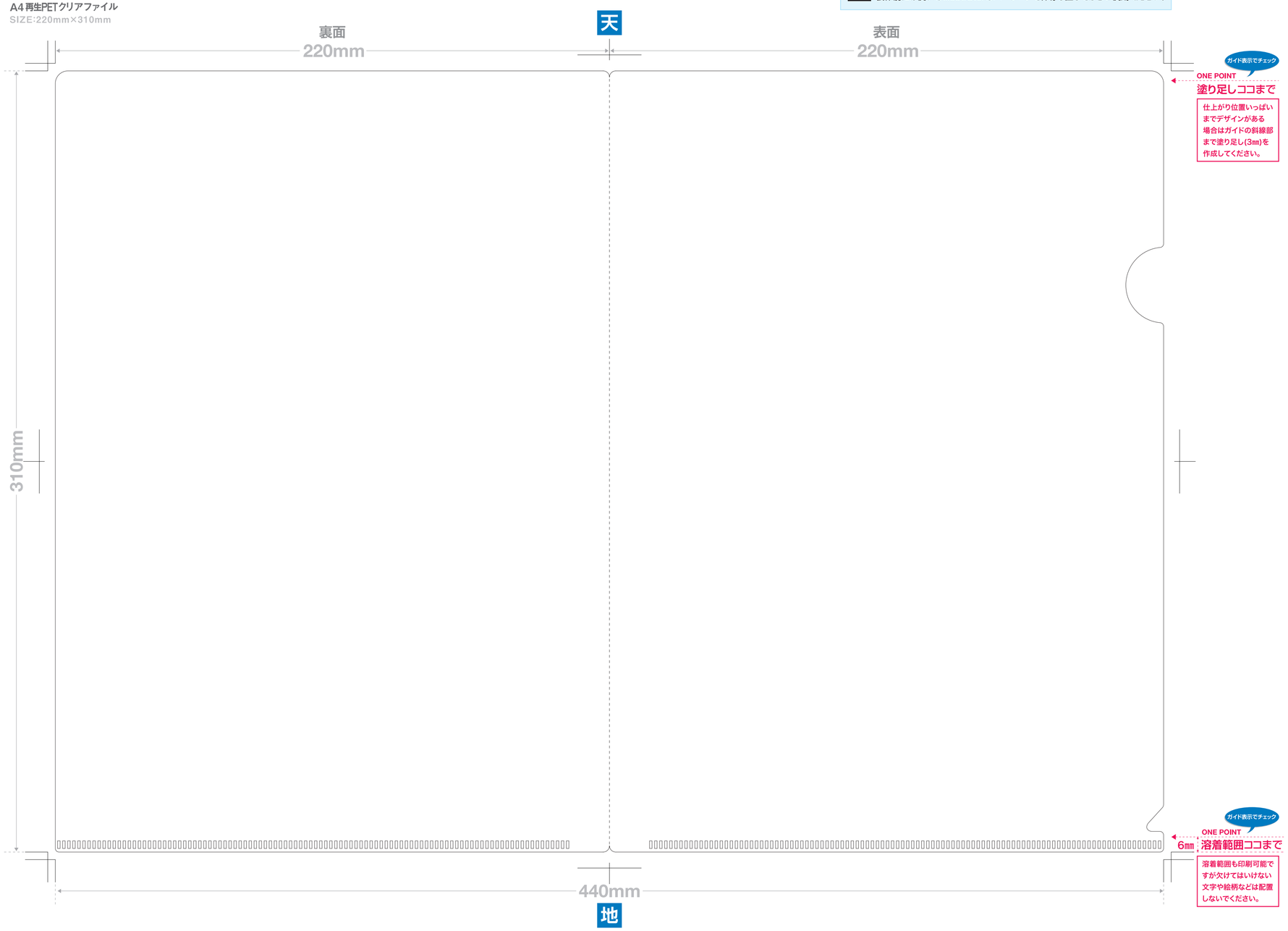
プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)のレイヤー構造

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)を重ねた際の見え方

A4 再生PET

A4再生PETクリアファイル
SIZE:220mm×310mm

このテンプレートはIllustrator ver.10で保存しています。
製作前にお使いのIllustratorのバージョンで保存し直してからご使用ください。



データ製作ガイド

- ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか？
  設定方法：メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度(推奨__その他-350ppi)
- 文字はアウトライン化されていますか？
- リンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
  埋め込みの場合も当店にて確認しますので必ずご入稿ください。
- リンク画像ファイルのカラーモードはCMYKになっていますか？
  RGBのままですと予期せぬ色の変化が生じる可能性がございます。
- 入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか？
- データは正常に開きますか？
- 入稿データは圧縮形式になっていますか？
  必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮をしてください。
- 絵柄を透かしたくない場合は、ホワイト版(白打ち)データを作成してください。
  PP(ポリプロピレン)は透明な素材ですので、印刷すると絵柄が透けてしまいます。そのため、絵柄の下に白を印刷することによって透けにくくし、発色を良くする事が可能です。
  白を印刷すると中の書類が見えにくい状態になります。プロセスでの白ヌキ部分は透明になりますので、白を印刷したい部分をホワイト版(K100%)で表現することになります。
  クリアファイルに使用される素材は、PP素材のため印刷時に伸縮が起こる事があります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のズレによって白がはみ出してしまいますので、ホワイト版(白打ち)の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm/パスをオフセット」して作成してください(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

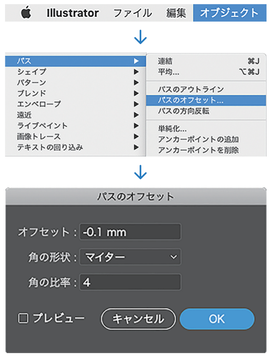
使用レイヤーについて

ホワイト版(白打ち)データは『ホワイト版』レイヤーに
カラーデータは『カラー版』レイヤーに作成してください。

ホワイト版(白打ち)のカラー設定

モード：CMYKの場合
ホワイト版(白打ち)を作成する場合、左記例(K100%)の様に単色ベタ塗りで設定してください。

ホワイト版(白打ち)の作り方



ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ

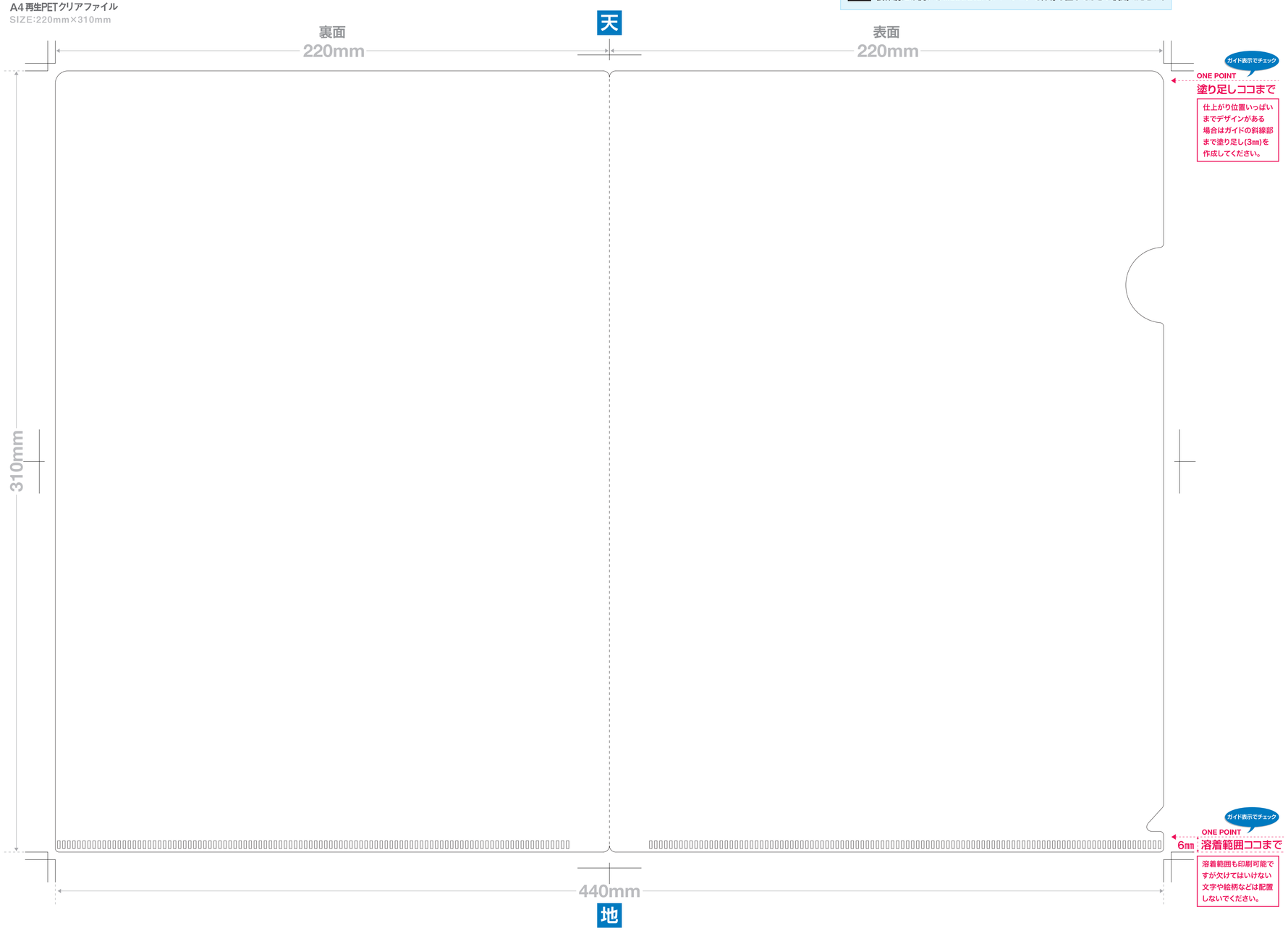
プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)のレイヤー構造

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)を重ねた際の見え方

A4 再生PET

A4再生PETクリアファイル
SIZE:220mm×310mm

このテンプレートはIllustrator ver.10で保存しています。
製作前にお使いのIllustratorのバージョンで保存し直してからご使用ください。



データ製作ガイド

- ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか？
  設定方法：メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度(推奨__その他-350ppi)
- 文字はアウトライン化されていますか？
- リンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
  埋め込みの場合も当店にて確認しますので必ずご入稿ください。
- リンク画像ファイルのカラーモードはCMYKになっていますか？
  RGBのままですと予期せぬ色の変化が生じる可能性がございます。
- 入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか？
- データは正常に開きますか？
- 入稿データは圧縮形式になっていますか？
  必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮をしてください。
- 絵柄を透かしたくない場合は、ホワイト版(白打ち)データを作成してください。
  PP(ポリプロピレン)は透明な素材ですので、印刷すると絵柄が透けてしまいます。そのため、絵柄の下に白を印刷することによって透けにくくし、発色を良くする事が可能です。
  白を印刷すると中の書類が見えにくい状態になります。プロセスでの白ヌキ部分は透明になりますので、白を印刷したい部分をホワイト版(K100%)で表現することになります。
  クリアファイルに使用される素材は、PP素材のため印刷時に伸縮が起こる事があります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のズレによって白がはみ出してしまいますので、ホワイト版(白打ち)の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm/パスをオフセット」して作成してください(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

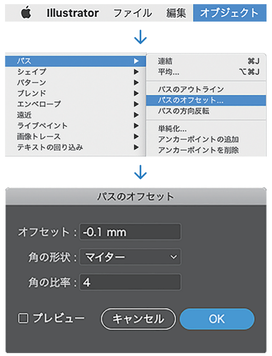
使用レイヤーについて

ホワイト版(白打ち)データは『ホワイト版』レイヤーに
カラーデータは『カラー版』レイヤーに作成してください。

ホワイト版(白打ち)のカラー設定

モード：CMYKの場合
ホワイト版(白打ち)を作成する場合、左記例(K100%)の様に単色ベタ塗りで設定してください。

ホワイト版(白打ち)の作り方



ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ

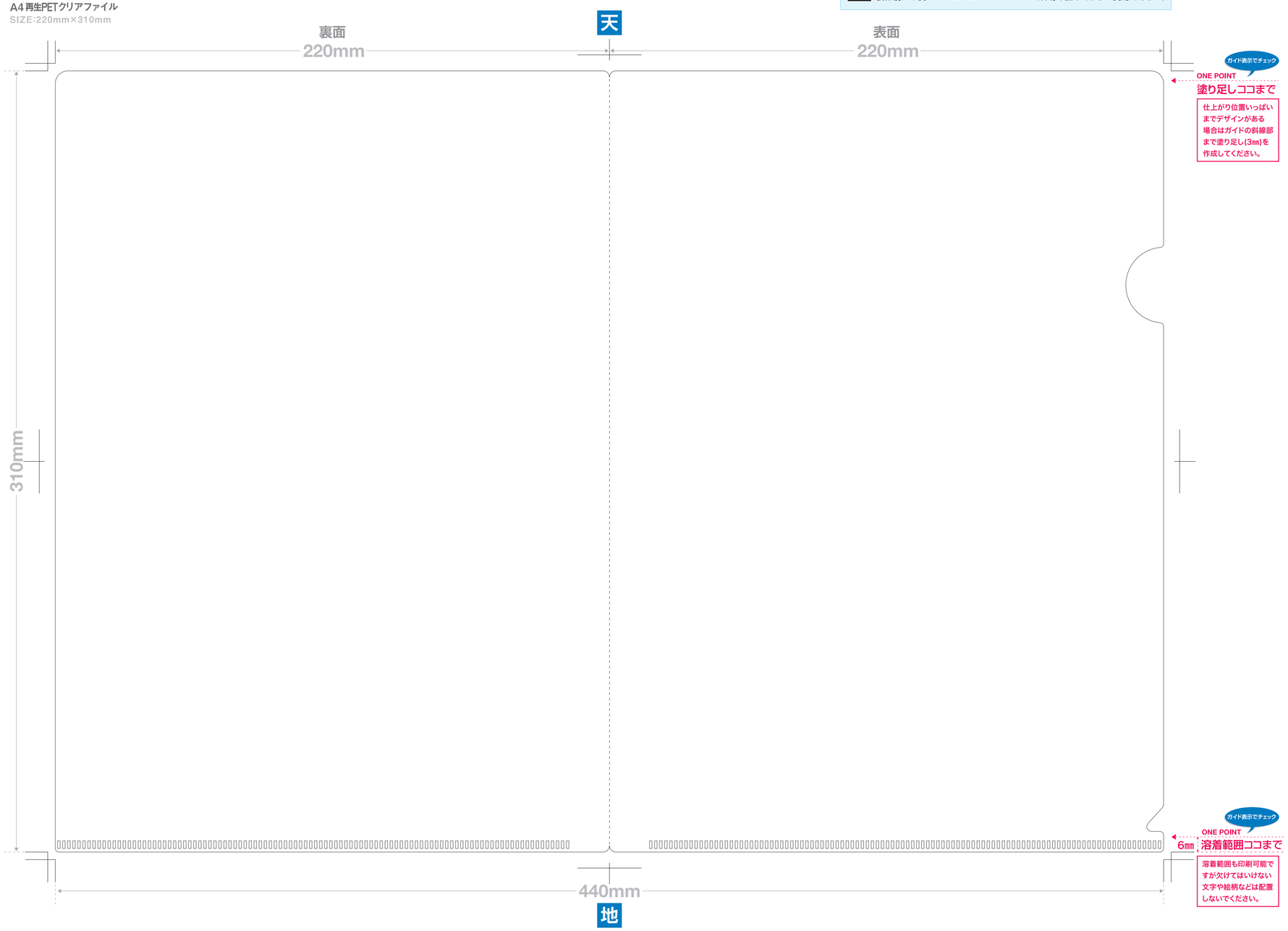
プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)のレイヤー構造

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)を重ねた際の見え方

A4 再生PET

A4再生PETクリアファイル
SIZE:220mm×310mm

このテンプレートはIllustrator ver.10で保存しています。
製作前にお使いのIllustratorのバージョンで保存し直してからご使用ください。



データ製作ガイド

- ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか？
  設定方法：メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度(推奨__その他-350ppi)
- 文字はアウトライン化されていますか？
- リンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
  埋め込みの場合も当店にて確認しますので必ずご入稿ください。
- リンク画像ファイルのカラーモードはCMYKになっていますか？
  RGBのままですと予期せぬ色の変化が生じる可能性がございます。
- 入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか？
- データは正常に開きますか？
- 入稿データは圧縮形式になっていますか？
  必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮をしてください。
- 絵柄を透かしたくない場合は、ホワイト版(白打ち)データを作成してください。
  PP(ポリプロピレン)は透明な素材ですので、印刷すると絵柄が透けてしまいます。そのため、絵柄の下に白を印刷することによって透けにくくし、発色を良くする事が可能です。
  白を印刷すると中の書類が見えにくい状態になります。プロセスでの白ヌキ部分は透明になりますので、白を印刷したい部分をホワイト版(K100%)で表現することになります。
  クリアファイルに使用される素材は、PP素材のため印刷時に伸縮が起こる事があります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のズレによって白がはみ出してしまいますので、ホワイト版(白打ち)の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm/パスをオフセット」して作成してください(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

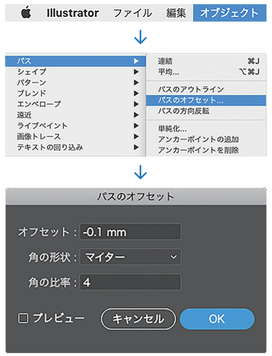
使用レイヤーについて

ホワイト版(白打ち)データは『ホワイト版』レイヤーに
カラーデータは『カラー版』レイヤーに作成してください。

ホワイト版(白打ち)のカラー設定

モード：CMYKの場合
ホワイト版(白打ち)を作成する場合、左記例(K100%)の様に単色ベタ塗りで設定してください。

ホワイト版(白打ち)の作り方



ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)のレイヤー構造

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)を重ねた際の見え方